

2010年(平成22年)3月16日 火曜日

## コンティグ・アイとCOCO

# 皮膚のコラーゲン合成促す

# 化粧品原料を開発

## 遺伝子治療の技術応用

環境ベンチャー、コンティグ・アイ(本社岐阜市正木631の7、鈴木繁三社長、電話058・294・8091)は、化粧品製造販売のCOCO(本社名古屋市中区和区紅梅町3の4の2、田中鞠衣社長、電話052・848・9861)と共同で、皮膚のコラーゲン合成を促進する独自成分が入った化粧品原料を開発した。遺伝子治療の技術を応用したもので、5月にも同原料を使った美容液を発売する。同時に、大手化粧品メーカーへの原料供給をめざす。  
(岐阜・片桐芳樹)

最先端の遺伝子治療を開発した。「これまでする成分は初」(鈴木)  
技術をもとに、コラーゲンそのもの(社長)としている。昨  
年12月、両社で特許を  
化する働きがある成分 あったが、合成を促進 出願した。



5月発売予定の美容液「初衣」

化粧品はCOCOが発売。コンティグ・アイは素材供給とコンサルティングを担当する。

開発した新成分を使った美容液の商品名は「初衣」。これまでに25人のモニター調査を実施したところ、おおむね高い評価が得られている。今後、5月の発売に向けて、さらにモニター調査を実施していく予定。